

第2回『遠野の観光を考えるワーキング』会議録

■日時：令和4年6月30日（木） 午前10時～午前11時20分

■会場：市役所とぴあ庁舎大会議室

■議題：①観光推進体制について

②遠野市観光基本構想・基本計画策定の進め方について

■出席者：杉村 亮、三浦 芳昌、河内 正好、田村 淳一、樋口 恵、田村 隆雅、荒井 明広
阿部 順郎（8名）

■欠席者：富川 岳、多田 陽香（2名）

杉村氏の進行により会議を進め、その内容については以下のとおりである。

《杉村亮》

初めに、今後の観光組織体制に関して、前回会議の振り返りを行いたい。（会議資料P4により説明・確認を行う）

組織体制については、今回で決めるのではなく、ある程度時間をかけて、どのような機能、人材が必要か等を検討していく必要があるのではないか。このメンバーで協議会とか準備室というような形で進めていくのはどうか。みなさんから意見を求めたい。

《メンバー全員》

異議なし。

《杉村亮》

次に、遠野市観光基本構想・基本計画策定の進め方について、資料に基づき説明をしていきたい。

説明の前に、基本構想・基本計画の策定については、遠野市との協議のなかで、遠野ふるさと商社で担わせていただく予定で進めさせてもらっている。策定にあたっては、杉村とは別にREVICから専門的な担当者の派遣によって、調査・分析から基本構想・計画策定を取り組む予定である。遠野市としては、この件についてはよろしいか。

《阿部順郎》

良いと考える。ただし、策定を進めるにあたっては、同じビジョン、方向を向くためにファシリテーターが必要と考える。

《杉村亮》

資料に基づき説明をする。（P6：プロジェクトの背景と目的、P7：プロジェクトの概要、P8：検討を進めるうえでのポイント、P9：基本構想検討フロー・項目を説明）

策定の進め方について説明したが、皆さんから何かないか。

《田村淳》

昨年国交省に提出のものとの関連は。

《杉村亮》

昨年策定のは、中心市街地に限ったものであったのに対し、今回は遠野市全体の観光に関わる構想・計画となる。

《田村淳》

昨年策定のもので、今回の計画に反映されるイメージか。

《杉村亮》

そのとおりである。

《田村淳》

今回策定する構想・計画を、遠野市のものとして進めるのか。外部に策定を委託したものを受けて進めていくのか。

《阿部順郎》

そう考えているし、そうあるべきだと考える。

《三浦芳昌》

授産施設利用者（障害者）の環境づくりを整備していかないといけないと考える。遠野市は共生社会をうたっている。新しいターゲットを求める意味で、福祉の関連の方にも話を聞くべきではないか。

《杉村》

ご意見として受ける。他にメンバーの皆さんに対して、ヒアリングとして課題、要望などを聞き取りたいと考える。課題だけでなく、こういうことが喜ばれているなどの成功事例も聞きたい。

《阿部順郎》

ユニバーサルデザインは必要。また、SMCのサプライヤー約6割が外国人（ベトナム・ネーデル）となる。これまでの観光以外にも様々な需要が出てくる。外国人技能実習生や工事関係者にも対応したものとしなければならない。平成19年に策定した遠野市観光基本計画は、課題を明確にし、よく整理されたものであると思うが、肝心の観光企画立案者が不在であった。

《杉村亮》

アジアや欧米は、興味・食事・文化など、もちろん違うのでよく聞いてみたい。

《荒井明広》

観光協会で行っているレンタサイクル貸出には、住所や年齢層も記載があり、何かに使えるデータになるかもしれない。宿泊のデータもあると良いと考えている。

《河内正好》

そのような個人データを、こちらで使えるのか。

《杉村亮》

承諾があれば可能と考える。予め、どのようなものに活用のため情報提供をします等了承を得ること。

《荒井明広》

泊って応援クーポンにも、申込者にはメールアドレスは記載してもらっている。

《杉村亮》

個人情報を除いて、どこから来たか、年代などをデータとして集めることができるとよい。

《田村隆雅》

観光のどこまでのデータを収集するのか。メンバーのなかでも観光のイメージが違うかもしれない。そして、遠野の観光のイメージが見えるものにしなければならないのではないか。それを明確にしたほうがよい。そして、データを集める仕組みづくりが必要。遠野として一元管理できる仕組みがあれば良く、改めてデータを集める時代ではない。

《杉村亮》

現在の観光入込数は各スポットの積み上げとなっている。重複もカウントしているので本当の数が実は分かっていない。風の丘のカウンターは、出入口3箇所でカウントしているので、実際より多い傾向。カウンターの設置次第で仕様が違う。

《阿部順郎》

風の丘の人数を抜くと大変なことになってしまう。物産会員 7,000 人にはカタログを送るなどしたほうがよい。

《杉村亮》

それでは2回目のワーキングの協議を以上としたい。1ヵ月ほど時間をいただき、自分なりに各種観光データ等を分析したうえで3回目のワーキングを開催したいのでよろしく。

